

《生物多様性をもっと身近に感じよう！》

# 今泉忠明氏による講演会を開催

～テーマは「生きものの進化とふしぎ」～

市では、生物多様性への関心が高まるよう「生きものの進化とふしぎ」というテーマで、「ざんねんないきもの事典」シリーズを監修している動物学者の今泉忠明氏を講師に招き、講演会を開催する。

生物多様性は私たち人間の生活を支え、様々な恵みをもたらすものである。そのため、未来を担う子ども達に、たくさんの生き物が生息、生育する自然環境を残していくことを目的に、市では生物多様性のシンボルとしてコウノトリを位置づけ、自然と共生する地域づくりに取り組んでいる。

そこで、生物多様性の重要性を市民の皆様によりわかりやすく伝えるために、子ども達に人気の「ざんねんないきもの事典」を監修している動物学者の今泉忠明氏を招き、生きものの進化とふしぎについて学ぶための講演会を開催する。

当日は参加者へのサイン会や記念撮影は行わない。

ただし、会場での撮影等は可能なため、取材をご希望の場合は、2月22日（水）までにお申し出いただくとともに、当日午後1時00分までに、会場にお越しください。

## ●生物多様性講演会概要

主 催：野田市、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会

日 時：令和5（2023）年2月26日（日）午後1時30分から午後3時

※午後1時開場

場 所：野田市役所8階大会議室

対 象：市内在住の方

定 員：200名（申込多数の場合は抽選）

料 金：無料

申 込：「往復はがき」による（1通につき5名まで応募可）

1月13日から1月31日まで ※1月31日（火）の消印有効

## 【当日の次第（案）】

13：00 開場

13：30 開会（開会あいさつ、講師紹介）

13：40 今泉氏講演

14：50 お礼の言葉

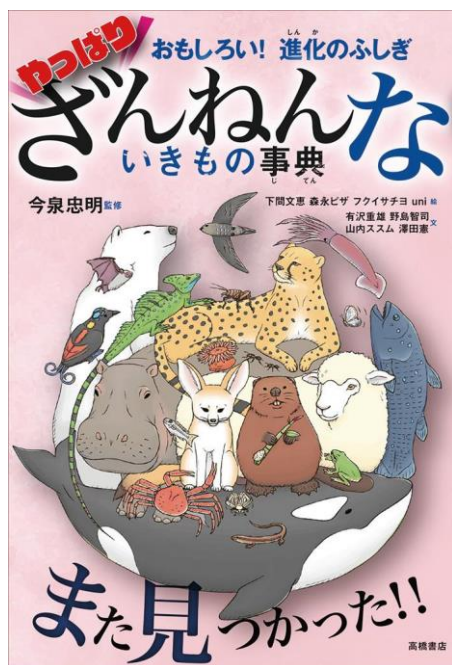
15：00 閉会（閉会あいさつ）

※ 当日は、野田市コウノトリボランティアの会による「コウノトリの飼育、繁殖、野生復帰パネル展」を実施

●今泉忠明（いまいずみ ただあき）氏のプロフィール

1944年動物学者の今泉吉典（よしのり）の二男として、東京都杉並区阿佐ヶ谷に生まれる。父親、そしてその手伝いをする兄の影響を受けながら動物三昧の子供時代を過ごす。水生生物に興味を抱き、東京水産大学（現・東京海洋大学）に進学。卒業後、国立科学博物館所属の動物学者として働く父親の誘いを受け、特別研究生として哺乳類の生態調査に参加し、哺乳類の生態学、分類学を学ぶ。その後、文部省（現・文部科学省）の国際生物学事業計画（IBP）調査、日本列島総合調査、環境省のイリオモテヤマネコ生態調査などに参加。上野動物園動物解説員、（社）富士市自然動物園協会研究員、伊豆高原ねこの博物館館長、日本動物科学研究所所長などを歴任。主な著書に「誰も知らない動物の見方～動物行動学入門」（ナツメ社）、「巣の大研究」（PHP研究所）、「小さき生物たちの大なる新技術」（ベスト新書）、「ボクの先生は動物たち」（ハッピーオウル社）、「動物たちのウンコロロジー」（明治書院）、監修書に「世界の危険生物」（学研教育出版）、「なぜ？の図鑑」（学研教育出版）、「ざんねんないきもの事典」（高橋書店）ほか多数がある。

70歳代半ばを過ぎた今も自然の中に積極的に出かけ、そこに棲む動物たちの現地調査を行っている。これまで自然と動物との関わりの中で得た貴重な体験を基に、子どもたちのためのフィールドワークをはじめとした体験型イベントを主催する「けもの塾」を2020年に設立した。



上：今泉 忠明氏

左：書影。利用の際は、「高橋書店刊」と記載

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・直通 04-7199-8147

代表 04-7125-1111（内線 2692）

野 田 市